

しまね社会貢献基金登録団体

特定非営利活動法人たすけあい平田



「地域に住むもう一人の
家族になろう」

を合い言葉に 市民同士の
たすけあい活動を続けてい
ます。

団体の活動、セールスポイント

平成4年、市民同士で「困ったときはお互いさま」のたすけあい活動を開始、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにと活動しています。

○介護保険開始前から、家事や介護、話し相手、草取り、通院介助など「市民の困った」にきめ細かくに対応



○市民の要望に応え、安否確認システム、外出支援のための移送サービス、山陰初の国土交通省認定講習など地域に不足するサービスを創出

○平成12年、NPO 法人となり、介護保険事業(ケアマネ、ホームヘルパー、デイサービス)や障がい者サービス(相談支援、ホームヘルパー、移動支援)を開始

○「健康寿命を延ばそう」と介護予防体操教室「ひびき」を開始

○各種研修、組織立ち上げ、介護何でも相談など実施。市民から「おたすけさん」と呼ばれ、親しまれています

寄附を受けて取り組みたい事業

○高齢者や生きずらさを抱えた障がい者が気楽に集い、ふれあえる場の充実

- ・畑仕事をしながら交流し、自然の中で心を解きほぐし、元気をいただく。
- ・季節ごとの収穫物をみんなで調理し、会食しながら、収穫祭や交流会を開く。
- ・おでかけ、何でも相談などしており、今後も活動を充実させたい。



寄附を受けて実施した事業

○まめなかコール

自動発信電話による独居高齢者の安否確認システム

○しまね移送サービス支援センター設立と国土交通省認定講習の開始

(島根県との協働事業)

山陰地方初の講習機関として、県内外の移送サービス人材育成と組織立ち上げの支援をしています。



団体の目標

○住民同士のたすけあいで福祉のまちづくり

地域住民が、家事や介護を助け合い、老いても、障がいを持っても安心して住み続けられる「地域包括ケア」のまちづくりを目指しています。

市民の知恵と力を寄せ合って「困ったときはお互いさま」のあたたかく、きめ細やかな助け合い活動を展開し、地域に不足するサービスを生み出しながら活動を続けます。

身内が遠方にいるひとり暮らしや高齢者夫婦でも、安心して在宅生活が続けられるように、遠くのご家族様と連絡を取り合いながら、「地域に住むもう一人の家族」の気持ちで、介護保険外のサービスを提供します。

入所後の自宅やお墓の管理など困ったときの相談先でもありますが、活動をますます充実させたいと思っています。



特定非営利活動法人 たすけあい平田
理事長 熊谷美和子
〒691-0012 島根県出雲市西代町 1 032-4
番地
tel 0853-62-0257
fax 0853-62-0258
mail miwakonpo@hit5-.net
hp
http://www.npo.lsnet.ne.jp/tasukeahirata/